

自由民主党綱領

- 一、わが党は、民主主義の理念を基調として諸般の制度・機構を刷新改善し、文化的民主国家の完成を期する。
- 一、わが党は、平和と自由を希求する人類普遍の正義に立脚して、国際関係を是正し、調整し、自主独立の完成を期する。
- 一、わが党は、公共の福祉を規範とし、個人の創意と企業の自由を基底とする経済の総合計画を策定実施し、民主の安定と福祉国家の完成を期する。



機関誌  
第15号  
自由民主党  
石川県支部連合会  
組織広報本部  
金沢市鞍月5-255  
TEL 076-237-0911(代)  
FAX 076-237-0915  
担当：宮元陸広報局長

# 2005 謹賀新年



半世紀の歴史と実績。  
政権政党として更なる飛躍を目指す。  
自由民主党は、本年11月  
結党50周年を迎えます。



日本民主党と自由党が合同し「自由民主党」が誕生(昭和30年11月15日)

昭和三十年十一月十五日に結党。戦後の民主政治が新しい発展と飛躍を模索する中、生みの苦しみの末に自由民主党は誕生した。

戦後の十年間は、日本国内外ともに苦難と激動と、独立体制の基礎固めの時代であった。政界もまた、自由民主陣営、革新陣営を問わず大きく動揺し続けた。

その貴重な体験と反省から、わが国が真に議会制民主政治を確立して、政局を安定させ、経済の飛躍的発展と福祉国家の建設を図るにはどうしたらいいかを模索した。やがて国民や政治家の間からも、自由民主主義勢力が大同団結する一方、社会党も一本となって現実的な社会党に脱皮し、二大

政党による健全な議会政治の発展を図る以外に道はない、という強い要望が芽生えてきた。

このような国民世論と、自由民主主義政党内部での反省も加わって、「保守合同」への動きが活発化した。日本民主党と自由党の合同による「自由民主党」は、全国民待望のうちに昭和三十年十一月十五日、東京・神田の中央大学講堂において、華々しく結成大会を開催。ここに戦後最大の単一自由民主主義政党として歴史的な発足をみた。

新年あけましておめでとうございます。

党員党友はじめ県民の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

さて、昨年七月の参議院選挙に際しましては、わが党公認の岡田直樹さんが対立候補に十数万票あまりの大差をつけ、圧勝することが出来ました。県連幹事長として、衷心より厚く感謝とお礼を申し上げる次第であります。わが石川県連は、引き続き皆様の負託に応えるべく、一致結束して県政の進展に邁進して行く所存であります。

また、昨年十二月三日、政府は平成十七年度予算編成の基本方針を決定しました。今後、地方団体の安定的な財政運営に必要な地方交付税、地方税などの一般財源の総額を確保し、税源移譲に伴う財政力格差が拡大しないよう、地元国会議員の先生方と力を合わせて、地方の声として中央へ反映していただくよう努力してゆく所存であります。皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



自由民主党石川県連幹事長 北村茂男

党員、党友の皆様明けましておめでとうございます。

昨年は参議院選挙をはじめ党勢拡大の為の諸事業に大きくご貢献頂き、所期の目的が達成されましたことに心より御礼申し上げます。

一昨年の衆議院選挙、昨年の参議院選挙を通じて、自民党は公明党との連携により安定した政権与党となることができました。この機会に自民党は雇用の確保、

景気・経済、福祉、教育、環境等の諸政策を今日的課題として、また国際競争力を維持向上するために、想像力豊かな人材と資本市場の育成を根本的課題として併せて推進していくことが必要です。創業しやすい環境を整え、起業の数を増やすことが景気回復の要と考えられます。なお昨年の暮れ、県民の待望しておりました新幹線が金沢までフル規格で整備されることが決まりました。今日の慶びは森喜朗先生のご精進なくして得られなかったと思います。さて今年も四年です、大きく羽ばたいて自民党の飛躍と石川県、そして日本の発展に共に頑張りましょう。



自由民主党石川県連会長 沓掛哲男

本年も県民の期待に応え、県民とともに歩みます。  
新年のご挨拶

# 県民ニーズに対応した様々な活動を展開

## 石川県連2004年度活動報告

参院選に全力投球。各種課題協議や要望事項取りまとめ活動、併せてイラン地震・イラク復興や新潟県中越地震支援のための街頭募金も展開。

### ◆1月16日

第70回自由民主党大会(新高輪プリンスホテル)

### ◆1月28日

県連参議院選対役員・県連役員合同会議 (県連)  
参議院選挙対策について協議した。

### ◆2月24日

イラン地震・イラク復興支援協力街頭募金 (香林坊)



紐野組織広報本部長・小泉青年局長をはじめ、青年局・青年部・女性局有志15名が参加し、香林坊にて街頭募金を実施した。

### ◆3月20日

県連女性の集い

参議院選を控え、県内女性局関係者600名が集い、自民党の政策をアピールするとともに選挙戦勝利を誓い合った。



### ◆4月3日

自民党政経セミナー「安倍晋三幹事長と語る会」  
(ホテル日航金沢)

自民党のニューリーダー安倍晋三幹事長を招き、改革推進政策に生まれ変わった、新しい魅力ある自民党をアピールしていくことを目的に開催した。併せて、参議院選挙必勝を誓い合った。



### ◆5月9日

岡田直樹事務所開き

### ◆5月14日

党本部参議院実務担当者会議 (党本部)

参議院選挙実務について、都道府県連実務者に運動計画を説明。

### ◆6月12日

県連市町村選対実務者会議 (六華苑)

参議院選挙実務について、市町村選対実務者と、選挙実務についての打合せを行なった。

### ◆6月24日

第20回参議院議員通常選挙公示

自民党公認、岡田直樹(新人)氏が立候補する。

### ◆7月11日

第20回参議院議員通常選挙投票日

○自民党 岡田直樹 289,697票

民主党 加藤 隆 188,804票

共産党 佐藤正幸 37,800票

自民党公認の新人、岡田直樹氏が10万票あまりの差をつけ、圧勝した。



### ◆8月6日

県政懇談会 (赤坂プリンスホテル)

県政重点施策について、県連主催による懇談会を開催。自民党国会議員、県連役員と知事、県執行部が出席した。

### ◆8月8日

第51回自民党県連定例会 (ホテル日航金沢)

沓掛哲男会長、北村茂男幹事長を再任し、引き続き県民の負担に応えるべく、新たなスタートをきった。

### ◆9月7日

自民党北信越ブロック幹事長・政務調査会長会議  
(名鉄トヤマホテル)

17年度北信越ブロックの要望事項等について協議し、取りまとめの上、党本部へ要望書を提出。

### ◆10月26日

全国政務調査会長会議 (党本部)

三位一体改革について、各都道府県連より意見を聴取。責任政党として、長期的視点に立って計画、実行していくこととし、今後の改革議論にしっかりと反映させていく旨を確認しあった。

### ◆11月5日

新潟県中越地震街頭募金実施 (香林坊)

北村幹事長をはじめ、青年局・青年部・女性局有志15名が参加し、香林坊にて街頭募金を実施。



### ◆11月10日

平成17年度国家予算要望説明 (赤坂プリンスホテル)

県主催により、平成17年度国家予算要望について、自民党国会議員、県連五役との懇談会が行われた。

### ◆11月12日

自民党北信越ブロック幹事長会議 (富山県連)

三位一体改革について、地方への負担が重くならないよう、党本部へ申し入れる。

### ◆11月24日

自民党北信越ブロック青年局・青年部・女性局合同会議 (ホテル日航金沢)



各県連の活動状況について報告するとともに、選挙対応等各県連共通の課題について協議し、要望書を取りまとめ党本部に提出。

### ◆11月30日

市町村支部との懇談会 (ホテル日航金沢)

党員募集をお願いするとともに、17年度県予算に対する要望事項について、各市町村支部より要望を聴取。合併に伴う支部体制について説明した。



### ◆12月1日

友好団体との懇談会 (金沢全日空ホテル)

党員募集をお願いするとともに、17年度予算に対する要望事項について、団体より要望を聴取。



**平成17年度県予算に対する重点要望を取りまとめる!**  
**自民党県連政務調査会**  
**地方の切実な諸課題に耳を傾ける**  
自民党県連政務調査会では十一月三十日、十二月一日の両日、平成十七年度県予算に対する重点要望事項について、市町村支部、友好団体より要望を聴取した。県予算に対する重点要望の背景には、国と地方の税財源を見直すため、政府がまとめた三位一体改革が推進される中、補助金の削減など、地方を取り巻く環境が益々厳しい状況にあることが考えられる。この日政務調査会では、切実な諸課題について質疑応答も交え、関係者の意見に真剣に耳をかたむけた。同要望事項については、要望書として取りまとめ、谷本知事に対し実現を強く要請し、提出した。

<運行ダイヤ>毎週木・日運行 (日本時間)

- 小松→上海 13:30→15:25
- 上海→小松 10:20→12:30

小松空港に到着した第1便。中国国内はもちろん、豪州、欧州へも足が伸ばせる

今、最も熱い中国上海と石川が繋がった。  
**友好の掛け橋、**  
**小松・上海定期便が就航。**

**党員募集について**  
自民党石川県連では、平成17年度の党員を募集しています。入党希望の方は所在地の市町村支部、職域支部を通じてお申込みください。  
☆党費 (年間) 一般党員 4,000円  
家族党員 2,000円  
『りぶる』を愛読してみませんか  
公党で唯一の女性政党誌を購読してみませんか。  
購読希望の方は自民党石川県連までお申込みください。  
★発行月一回 年間購読料 3,600円

北陸から唯一の上海直行便が毎週木・日の運行でスタートした。わずかに二時間で上海に到着。時代の薫りと新しさが混在する上海観光が満喫できる。また北京、西安、桂林などへもひとっ飛び。中国観光が一挙に身近なものとなった。  
上海を中心とした長江デルタ地区は中国经济発展の中心地域。石川を始め北陸の企業の進出もめざましい。このような状況下での定期便就航は、経済的メリットとビジネスチャンスを拡大するものと大きく期待されている。さらに注目されるのは上海浦東空港の「ハブ機能」。中国東方航空は中国国内に加え、バンコク、シンガポール、豪州、欧州などへのネットワークを持つ。石川と世界をつなぐ記念すべき就航だ。